

平和ビデオ・DVD

令和6年2月1日

番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度
1	はだしのゲン	ゲンの父親は、戦争反対を叫びつづけるために軍部につかまり、拷問や弾圧に耐えながら戦争反対を叫び続ける。そのためゲン一家は非国民よばわりされつづけるが、みんなで力をあわせ明るく楽しい家庭をつくっている。そんな明るい家庭も、1945年8月6日の原爆投下によって、一瞬に破壊してしまう。…	90	VHS アニメ	
2	はだしのゲン2	小学校4年生に成長したゲンを中心に、原爆孤児たちが、廃墟の広島で明るく生きていく姿を描いている。物語は、ゲンの母親の発病から死までを軸に展開していく。原爆症で倒れ、しだいにやせ細っていく母親…。ついには病院に背負われていく途中、ゲンの背中で命の灯を消す。…	90	VHS アニメ	
3	つるにのって「とも子の冒険」	小学校6年生の元気な少女とも子は、夏休みのある日、広島原爆資料館を訪れた。とも子は、平和公園で不思議な少女と出会う。彼女の名前はサダコ。そして、サダコの案内で、とも子の不思議な不思議な冒険が始まる。…	27	DVD アニメ	H5 (1993)
4	忘れてはならない夏がある 原爆を見た日	①本編(33分) もう二度とこんなつらい思いをすることがないように…。 尼崎市在住の二人の被爆者の語りを中心に、イラストや資料映像を交えながら忘れてはならない夏の記憶を辿る。 ②紙芝居 ・11歳の夏(15分) お母さんに会いたい。お母さん！泣きながら市内をさまよったあの日(広島) ・水がほしい(12分) 「お兄ちゃん、水がほしい」弟の最後の願いも叶えてあげられなかった。(広島) ・その日から(14分) 婦女子は米軍から逃げるように通告され、着の身着のまま貨車に乗り…。(長崎)	①33 ②15 12 14	DVD	H26 (2014)

番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度
5	おかあさんの木	<p>今から数十年前、ある家に「おかあさん」と七人の息子が暮らしていました。やがて日中戦争を皮切りに日本が戦争に入ると息子たちは次々に召集され、戦地に赴いていきました。おかあさんは息子が出征する度に裏の空き地に桐を植え、出征するからには手柄を立てるようにと願い、代わりとなる桐に語りかけて息子たちを励まし続けていましたが、一郎が中国大陸で戦死し、遺骨となって戻ってきたことをきっかけに、次第に手柄を立てるより無事に戻ってくることを願うようになっていきました。やがて息子たちは全て収集され、戦争が終わっても誰一人戻らず、戦死または行方不明になりました。おかあさんは次第に体が衰えていきましたが、それでも息子たちが帰ってくるのを心待ちにして、自分が植えた七本の桐の木に絶えず語りかけました。しばらく経って軍人たちが次々に帰還する中、ビルマで行方不明になっていた五郎が片足を引きずった状態で家に戻ってきた時には、おかあさんは「五郎」と名づけた桐の木に凭れかかったまま息絶えていたのです。</p>	23	DVD アニメ	

問い合わせ: 香美町教育委員会 香住区生涯学習センター(香住区中央公民館内)

TEL 36-3764 FAX 36-3568